

自治体名	日の出町					
地域未来塾名称	平井小学校放課後学習室					
実施場所(個所数)	■学校： 1校 (小学校1校)					
対象学年	■小学生 (2年～6年)					
学習支援員数	2人	■地域住民				
対象教科	国語	○	算数	○	英語	
	その他	児童のニーズに合わせた学習				
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用		無	
【実施規模】						
■実施回数：年113回 ■実施曜日 月・火・木・金 ■時間帯 15:20～16:30						
【運営体制・方法】						
6校時まで授業のある学年の希望者が図書室に集まり、自習を行う。毎回10名以上の参加あり。主に宿題や児童自身が用意した学習材を使用する。地域人材である学習支援員を1名配置し、安全管理およびわからないところへの質問に答えるという形で個別に学習支援を行う。						
【成果・課題等】						
成果：家庭での学習習慣がなかなか身につかない児童も、担任が放課後学習室参加を促すことで、宿題をやってくるようになってきた。						
課題：支援員の安定的な確保。 宿題に取り組む児童がほとんどであり、さらに自主学習に取り組む児童を増やしていく必要があること。						

地域未来塾名称	大久野中学校放課後学習教室					
実施場所(個所数)	■学校： 1校 (中学校1校)					
対象学年	■中学生 (3年)					
学習支援員数	2人	■教員OB				
対象教科	国語	○	数学	○	英語	○
	その他					
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用		有	
【実施規模】						
■実施回数：年50回 ■実施曜日 水・木 ■時間帯 15:45～17:15						
【運営体制・方法】						
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級3年生対象 (毎週水曜日)、通常級3年生生徒対象 (毎週木曜日) ・元学校経営支援員1名、学校支援ボランティア1名で実施 ・教材はベーシックドリル他手作り教材 ・主に受験勉強の支援を行う。 						
【成果・課題等】						
成果 特に塾に行っていない3年生にとって、学習教室は学習のリズムをつくるペースメーカーとなっている。						
課題 対象生徒を広げすぎると、個に応じた指導ができないため、対象生徒をどこまで絞り込むかが課題である。						